

2 高等学校（全日制課程、定時制課程）卒業生

(1) 卒業生数（表30）

令和7年3月の高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業生総数は13,244人（男子6,605人、女子6,639人）で、前年より222人増加している。進路別にみると、「大学等進学者」が6,468人（構成比48.8%）と最も多く、次いで「専修学校（専門課程）進学者」が3,056人（23.1%）、「就職者」（進学者のうち就職している者は含まない）1,833人（同13.8%）、「左記以外の者」1,441人（同10.9%）、「公共職業能力開発施設等入学者」236人（同1.8%）、「専修学校（一般課程等）入学者」210人（同1.6%）の順となっている。

表30 状況別卒業生数

区分	卒業生総数	A 大学等進学者	B 専修学校 専門課程 進学者	C 専修学校 一般課程 等入学者	D 公共職業 能力開発 施設等 入学者	E 就職者（左記A～Dを除く）				F 左記以 外の者	G 不詳 ・死亡 の者	(再掲)	
						(a) 自営業 主等	常用労働者		臨時 労働者			(c) 左記の A, B, C, D のうち 就職して いる者	(d) 左記E有期雇用 労働者のうち 雇用契約期間 が一年以上、かつフルタイム 勤務相当の者
							(b) 無期 雇用 労働者	有期 雇用 労働者					
令和3年3月	14,093	5,749	3,932	419	260	119	1,690	239	42	1,643	—	6	197
4	13,820	6,160	3,576	453	286	90	1,533	178	0	1,544	—	2	118
5	13,628	6,307	3,422	282	265	30	1,733	90	8	1,490	1	2	71
6	13,022	6,084	3,329	203	231	52	1,593	130	12	1,387	1	7	114
7	13,244	6,468	3,056	210	236	90	1,630	108	5	1,441	—	2	94

※1 就職者総数 = (a) + (b) + (c) + (d)

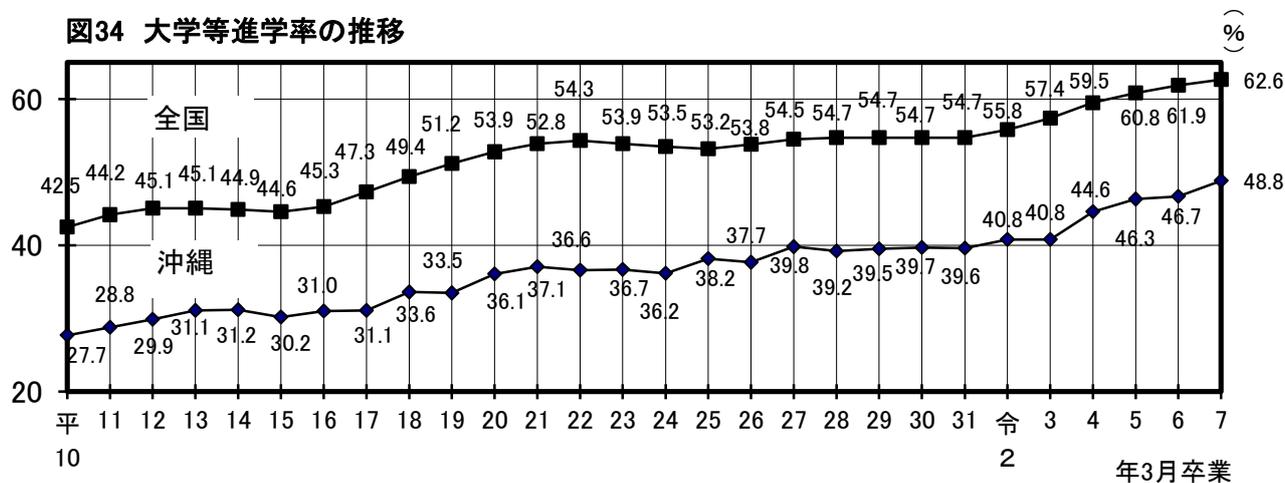
※2 令和2年度に就職者等に関する調査項目が変更された。

(2) 進学状況（図34、表31）

大学等進学率（卒業生総数のうち大学等進学者の占める比率）は、前年より2.1ポイント増の48.8%（男子45.8%、女子51.8%）となっており、全国の62.6%（男子61.3%、女子64.1%）より13.8ポイント下回っている。

大学・短期大学への入学志願率（卒業生総数のうち大学（学部）・短大（本科）への入学志願者の占める比率）は前年より2.1ポイント増の52.8%（男子49.9%、女子55.7%）となり、全国の66.7%（男子66.8%、女子66.6%）を13.9ポイント下回っている。

図34 大学等進学率の推移



$$\text{進学率} = \frac{\text{大学等進学者数}}{\text{高等学校卒業生総数}} \times 100$$

表31 九州各県の大学等進学率・卒業者に占める就職者の割合（％）

区分	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	全国
進学率	59.2	50.9	50.2	51.2	53.3	49.0	48.7	48.8	62.6
卒業者に占める就職者の割合	15.1	26.9	25.4	23.1	22.6	25.3	23.2	13.7	13.7

(3) 就職状況（表32、表33、図35、図36、図37、図38）

就職者総数（進学者のうち就職している者を含む）は1,816人（男子1,225人、女子591人）で前年より50人増、卒業者に占める就職者の割合は前年より0.1ポイント上回って13.7%（男子18.5%、女子8.9%）となり、全国の13.7%（男子17.2%、女子10.1%）と同率である。

就職の状況を県内・県外別にみると、就職者総数のうち県内就職者が1,296人、県外就職者が520人で、就職者のうち県外に就職した割合は28.6%となっている。

県外就職者の都道府県別就職先では、東京の165人が最も多く、県外就職者のうち31.7%を占め、次いで愛知の68人となっている。

地区別でも関東の270人が最も多く、北海道・東北はわずか3人となっている。

県内・県外就職者数の推移をみると、県内就職者数は前年より45人増加、県外就職者は5人増加となっている。

※就職者総数とは、表30「E就職者等」のうち、「自営業主等」「無期雇用労働者」「有期雇用労働者」のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者、「H左記A, B, C, Dのうち就職している者(再掲)」の合計をいう。

図35 県外就職者の就職先

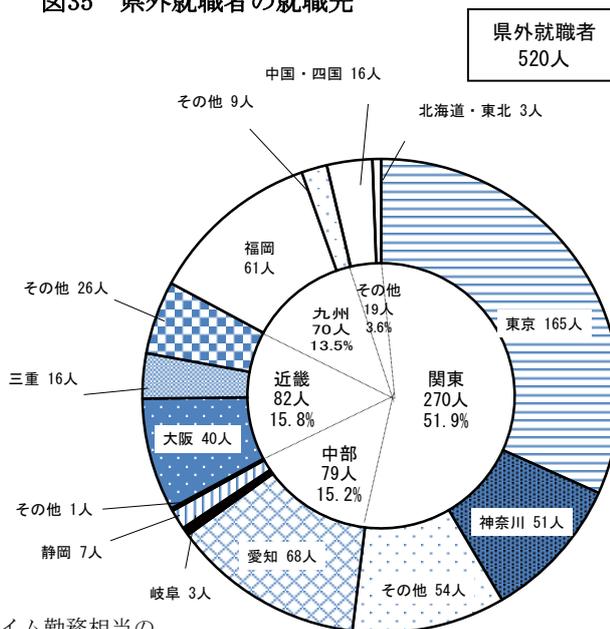
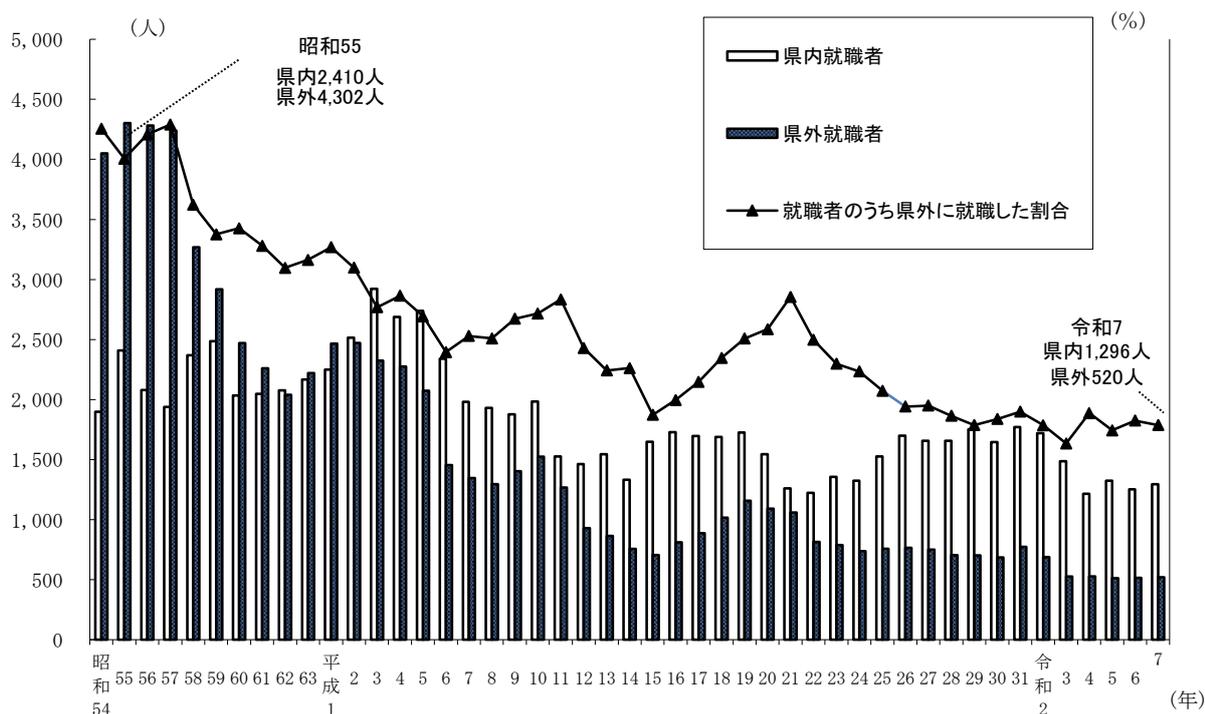


図36 県内・県外就職者の推移



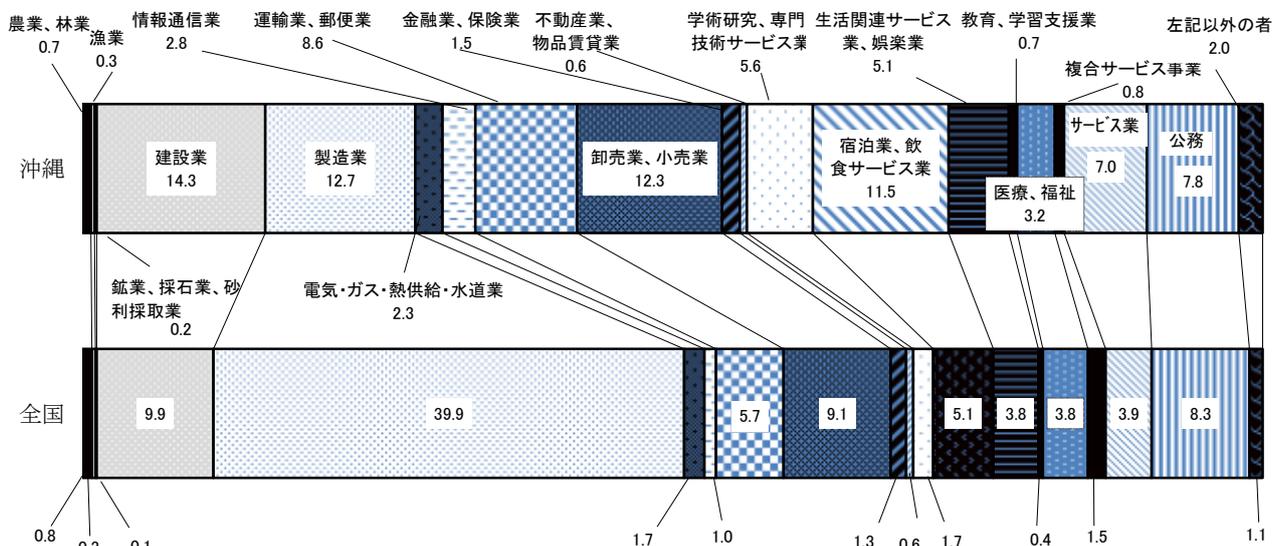
就職者を産業別にみると「建設業」が259人（構成比14.3%）と最も多く、次いで「製造業」231人「卸売業、小売業」223人、「宿泊業、飲食サービス業」209人の順となっている。

全国では、「製造業」（構成比39.9%）が最も多く、次いで「建設業」、「卸売業・小売業」と続いている。

表32 産業別就職者数

区分	計	農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・水道熱供給業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、賃貸業	技術サービス業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	左記以外の者
計	1,816	12	5	4	259	231	41	51	157	223	28	11	101	209	93	12	58	15	127	142	37	
男	1,225	7	4	2	248	196	34	28	125	115	8	7	90	85	44	3	21	3	75	107	23	
女	591	5	1	2	11	35	7	23	32	108	20	4	11	124	49	9	37	12	52	35	14	

図37 産業別就職者の構成比（%）



就職者を職業別にみると、「サービス職業従事者」が351人（構成比19.3%）と最も多く、次いで「生産工程従事者」322人、「専門的・技術的職業従事者」215人の順となっている。

全国では「生産工程従事者」（構成比38.6%）が最も多く、次いで「サービス職業従事者」と続いている。

表33 職業別就職者数

区分	計	男	女
計	1,816	1,225	591
専門的・技術的職業従事者	215	176	39
事務従事者	132	39	93
販売従事者	181	82	99
サービス職業従事者	351	145	206
保安職業従事者	178	124	54
農林漁業従事者	16	10	6
生産工程従事者	322	283	39
輸送・機械運転従事者	97	84	13
建設・採掘従事者	205	200	5
運搬・清掃等従事者	58	50	8
上記以外のもの	61	32	29

図38 職業別就職者の構成比

